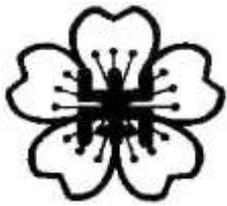


平成28年4月28日  
5月号



# 学校だより

港区立本村小学校 校長 黒田 泰正

H P <http://hommura-es.minato-ky.ed.jp/> Eメール [hommura-es@minato-ky.ed.jp](mailto:hommura-es@minato-ky.ed.jp)

## 連休前、連休中、連休後の充実へ

校長 黒田 泰正

早いもので、ゴールデンウィークに入ります。新緑の若葉がまぶしくさわやかな風が吹く5月の初夏を迎えます。

入学式・始業式から3週間が過ぎました。4月16日(土)には「1年生を迎える会」がありました。本村子ども委員会の子どもたちが先頭になって、入場から、挨拶から、捧げる歌まで、全員をリードしてとても心温まる会でした。上学年の代表の子が「困ったことがあったら、何でも聞いてください。」と言うと、1年生が皆の呼びかけで「よろしくお願いします」と言い、仲良く、優しい心で体育館がいっぱいになりました。46名の1年生が皆の仲間入りを果たしました。

4月13日(水)と4月15日(金)の全体保護者会には、2日間で多くの保護者の皆様のご出席下さいました。本当にありがとうございました。またPTAの役員の皆様も、PTA総会やPTA歓送迎会に向けての準備を下さっています。また、交通安全運動の期間は、町会や地域の皆さんが、横断歩道の四つ角に立ち旗を振って下さり、本村小学校の子どもたちの安全を守って下さっていました。本当にありがとうございます。

全学年356名の児童は、新しい学級でのそれぞれの役割や分担が馴染んできて、少しずつ授業も落ち着いた雰囲気の中でできるようになってきました。今年度は運動会が6月4日(土)にあるので、体育の授業では短距離走のタイムをとる学年があったり、体育集会ではラジオ体操や整列の基礎の形を練習したりして、活気を帯びています。

4月14日から続いている熊本県の大地震では、まだまだ避難所に6万人近くの人々が生活して、苦難を味わっています。何とか協力したい、役に立ちたいという心は学校全員がもっています。その中で、本村小学校では「本村子ども委員会」を中心に募金を行っています。このことは、4月20日(水)の「高陵地区子どもサミット」で高陵中学校の生徒会や箕小学校の児童会に向けて「本村子ども委員会」の子たちが呼びかけました。とても積極的な提案で感心しました。ご家庭でもこの募金運動にご協力をお願いします。

どんなに時代が変わろうと、教育は、学校と保護者・地域の信頼関係がなくては成り立ちません。そして、小学校教育の根幹にあるものは、子どもたちが将来社会に出たときに、自立できるように、生き抜けるように「生きる力や生きがい」を身に付けさせる。「希望や夢をもたせ、個性を伸ばす」「自己肯定感をもたせる」ということが最大のねらいと考えています。私たち学校に関わる者の最も重要な仕事だと考えています。今後とも、ご家庭や地域の皆様と一緒に子どもたちを育てていきます。

どうぞ、皆様、よい大型連休をお過ごしください。そのあとの、5月の学校生活を充実させていきます。よろしくお願いします。

## 本村小学校の給食

栄養士

暖かい季節になりました。私が本村小学校にきて4回目の春を迎えます。これまでの春を思い返すと教室が変わったからか、クラス替えがあったからかそれまで給食をたくさん食べていた学年の児童も食欲が落ちる時期というイメージがありました。例年通り「汁やご飯などは少なめでいいかな」と思っていたら、今年は全く食欲が減りません。クラスを回ると「先生、おかわり分が全然ないよ」「足りないからもっと入れて欲しいよ」といった声があちこちから聞こえてきました。今、本村小学校にきて児童が給食を食べるようになったとしみじみ感じています。これは児童が成長期で食欲旺盛ということもあるのですが、きっと私が作る給食の味に慣れてくれたのだなと感じます。元気よく「美味しかったよ」と言われると、うれしい気持ちになります。作る人が違うと、ちょっとした味加減がどうしても変わってきます。しかし栄養士も、調理員も児童みんなの心と身体の成長を祈って、美味しく出したいと努力して作っています。本村小学校の給食は旬の食材を毎月取り入れ、伝統的な行事食も意識しています。また地方や海外の文化に触れて欲しく、郷土料理や海外の献立も月に何回か取り入れています。児童には目の前の給食を楽しんでもらうと同時に、命を提供している食材、顔は知らない生産者さんや農家さん、作ってくれる調理員さん、手伝ってくれる先生方、給食費を払っているご家族の方々みんなに感謝の気持ちをもって欲しいです。児童にはそのことを言うだけではなかなか伝わらないかもしれません。しかし、毎日給食を通じて、美味しいという気持ちを育むことで幸せを感じ、どんな状況でも誰が作ったものでも他に感謝する心を育てて欲しいと思っています。来年はより食欲旺盛な児童になっていますようにと願い、今日も美味しい給食を作りたいと思います。



## 人と関わる力

生活指導委員会

外で遊べる日は、校庭に出て元気に仲良く遊んでいる子どもたち。休み時間が終わると、教室はいい表情をした子どもたちでいっぱいになります。たっぷり遊んだ後は気持ちの切り替えも上手くでき、学習にも身がはいります。

しかし、時にはけんかをしたり、友達の行動に納得できなかったりすることもあります。

学校生活においては、このような場面もまた大きな学びのチャンスです。感情のコントロールや、自分の考えを言葉にすることがまだまだ未熟な子どもたち。大人の私たちがお互いの思いや考えを整理し、言葉にしてあげることが必要となってきます。そのように大人の力を借りながら、自分の考えや意見を相手に伝えたり、相手の考えや意見を聞いてそれを尊重したりする態度が育ちます。そして、友達同士でぶつかり合うような場面でも、自分たちの力で乗り越えていく力を身に付けていきます。そんな子どもの姿を期待して、子どもたちと向き合っています。

また、友達のような横とのつながりだけではなく、家庭生活や地域での活動では縦のつながりを学ぶことも期待できます。そのように身に付けた様々な人と関わる力をさらに学校生活でも生かしてほしいと願っています。

5月の生活目標は、

「力を合わせてなかよく生活しよう」  
です。

### <今月の生活努力目標>

- ・たくさんの友達と仲良く遊ぼう。
- ・ていねいな言葉遣いで話そう。
- ・仕事や当番を助け合ってしよう。
- ・遊びのきまりを守ろう。

## 平成 28 年度の校内研

### 研究主題

「数学的に考え、表現し、  
**学び合う力を高めるための指導法の工夫**」  
 研究推進委員会研究推進委員長

本年度、本校では、昨年に引き続き、上記の研究主題を掲げ、算数科を中心として、児童の「思考力、表現力」を育むための授業研究・改善に取り組んでいます。高学年分科会、中学年分科会、低学年分科会、若竹分科会の4分科会に分かれ、児童の思考力、表現力を高めるための指導法について話し合いを行い、そして話し合ったことを日々の授業において実践しています。また、本年度は各学年1クラスと若竹学級の計7クラスにて、研究授業を行う予定です。

算数科において児童は新たな問題を解くとき、今までに習った内容で活用できるものはないか考え、それらを基に、問題の解決方法や答えの見通しをもちます。そのような「見通しをもち、筋道を立てて考える力」を大切に研究を進めています。また、問題を解く過程において、考えたり、分かたりしたことを、図、式、表、グラフ、言葉を用いて表現し、それを友達に分かりやすく伝え合うといった学び合いの場を多く取り入れた授業を重ねていき、児童の思考力、表現力の育成に取り組んでいきます。



# 5月

## の行事予定

日	曜日	学 校 行 事 ・ 予 定 等
1	日	
2	月	全校朝会 委員会 視力聴力(6)
3	火	憲法記念日
4	水	みどりの日
5	木	こどもの日
6	金	朝読書 避難訓練 視力聴力(1-1・5-1) 町探検(3)
7	土	B時程 土曜授業日 自転車教室(3) 視力聴力(若)
8	日	
9	月	全校朝会 4時間授業 個人面談 視力聴力(3-2・5-2) なかよし班活動
10	火	朝読書4時間授業 個人面談 視力聴力(2-1)
11	水	B時程 4時間授業 (区研修会のため) 視力聴力(2-2・4-1) 町探検(3)
12	木	4時間授業 個人面談 視力聴力(3-1・1-2) 安全指導 消防署見学(4)
13	金	朝読書4時間授業 個人面談 視力聴力(4-2) 尿検査二次
14	土	
15	日	
16	月	全校朝会 4時間授業 個人面談 運動会特別時程(始)
17	火	朝読書 耳鼻科健診(若246)
18	水	B時程 眼科健診(全) 心臓検診2次
19	木	B時程 5時間授業(1~4) 運動会児童係打合せ
20	金	音楽集会 若竹合同遠足 尿検査二次追加 幼稚園交流給食(6) 耳鼻科健診(135)
21	土	B時程 土曜授業日
22	日	
23	月	全校朝会 教育実習(始)
24	火	朝読書 P T A総会(15:30~)
25	水	B時程
26	木	体育朝会
27	金	朝読書 運動会児童係打合せ 5時間授業(1~4)
28	土	
29	日	
30	月	全校朝会 運動会全体練習
31	火	体育朝会
6/1	水	B時程 運動会全体練習

※天候等の関係で予定が変更することがありますのでご了承ください。

## 特別支援教室の通級および学習支援員の配置について

平成28年4月より、特別支援教室を開室しました。特別支援教室とは、個別のニーズに応じて指導計画を立て、それに基づき生活面や学習面で個別の指導を行い、よりよく学習や集団生活に参加していく支援をする通級指導の教室です。

また、通常の学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために個別に支援を行う学習支援員についても今まで通り配置を行います。

特別支援教室への通級や学習支援員の配置を新規に希望される保護者の方は、5月10日(火)までに、担任・特別支援コーディネーター(若竹学級・石井、6年・小澤)または、副校長に連絡してください。

なお、継続して特別支援教室の利用や学習支援員の配置を希望される方につきましても、5月10日(火)までに、担任・特別支援コーディネーター、または、副校長に連絡してください。また、普段の学校生活において、担任等が特別支援教室および学習支援員の利用が必要だと判断した場合にも、利用を勧める場合があります。

〈特別支援コーディネーターより〉

今年度、特別支援コーディネーターを務めます。お子様の成長についてのご相談がありましたら、遠慮なくお声かけください。